

「病院」 第78巻 総目次

2019年(第1号～第12号)

()内数字は号数, 数字は通巻頁数

特集

●平成の病院医療から次の時代へ (1)

巻頭言	渋谷 健司	19
平成の医療制度改革に関する考察	尾形 裕也	21
【尾形論文へのコメント】高齢化への対応		
一工夫を重ねる医療介護制度	江利川 毅	25
変貌を遂げた病院機能への対応—脳神経疾患専門		
病院から、地域のコアホスピタルへ	大田 泰正	27
【大田論文へのコメント】地域の期待と病院の		
潜在力のマッチング	河北 博文	33
昭和・平成を超えた病院経営とは	中村 秀敏	34
【中村論文へのコメント】時代を超えて病院経営に		
求められているもの	猪口 雄二	39
激動の時代を生き抜くために医療経営人材に		
求められる「役割」と「視点」	田中 利樹	40
【田中論文へのコメント】病院における		
「働き方改革」の実現のために	三谷 和歌子	45
病院とテクノロジー—Electronic Health		
Record(EHR)の構築と Artificial Intelligence		
(AI)の活用	佐々江 龍一郎	46
【佐々江論文へのコメント】「医療界以外の先進事例に		
学ぶことの重要性」の視点から	落合 慈之	51

●病院医療に専門医制度は貢献するか (2)

巻頭言	神野 正博	99
医師を巡る諸問題を俯瞰して—医師の需給・		
偏在対策、働き方改革と専門医制度	武田 俊彦	100
医師の地域・診療科偏在対策に専門医制度は		
貢献するか	北村 聖	107
各領域別専門医の必要数はどのように推計すべきか		
	松田 晋哉・大谷 誠	113
地域医療に貢献する総合診療医		
—求められる専門医制度	四方 哲	118
医師の働き方改革は専門医制度に影響するか		
	赤星 昂己	124
【オピニオン】私たちの考える専門医制度 骨太の提案		
専門研修は大学病院が行うべき	山本 修一	131
新専門医制度に求められるもの	今村 聡	132
四病院団体協議会からの提言	神野 正博	133
医師の半分は総合診療専門医に	武久 洋三	134
●情報爆発へ病院はいかに対応するか (3)		
巻頭言	松田 晋哉	171
医療・介護ビッグデータをいかに活用するか		
	松田 晋哉	172
医療現場におけるビッグデータ活用のための		
基盤整備の在り方	澤 智博	177
医療における情報爆発の原因とその対応	中島 直樹	182
医療・介護における共通基盤の構築と活用の		
意義と実際	神野 正博	187
医療情報の病院マネジメントへの利活用の実例		

.....伏見 清秀	195
●どうする、病院食	(4)
巻頭言.....今村 英仁	251
これからのあるべき病院給食の姿—臨床栄養管理との 連携と業務の合理化.....中村 丁次	252
病院経営からみた給食—中医協調査データを踏まえて中村 康彦	256
病院給食人材不足の現状と対策—病院給食受託企業の 立場から.....山本 裕康	262
食品衛生法の改正に伴う HACCP に沿った 衛生管理の制度化.....福島 和子	265
【事例】公益財団法人星総合病院 地域を巻き込む病院給食.....戸松 明子	270
【事例】一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院 ニュークックチルシステム導入の経緯と 見えてきた課題.....黒岩 敏	273
【事例】医療法人社団恵仁会なぎ辻病院 当院におけるセントラルキッチンシステム導入小森 直之	277
●地域の医療を残すために—病院の統合・再編	(5)
巻頭言.....伊関 友伸	327
地域医療構想と病院の統合・再編.....鈴木 健彦	328
わが国における病院の統合・再編の状況.....高橋 克己	333
病院の統合・再編に必要なこと.....伊関 友伸	338
地方紙記者から見た兵庫県丹波市の病院統合足立 智和	345
【事例】つがる総合病院 青森県西北五保健医療圏の自治体病院機能再編成高杉 滝夫	351
【事例】桑名市総合医療センター 官民の病院統合による地域医療再生の試み竹田 寛	354
【事例】独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 国立病院機構西群馬病院と渋川市立渋川総合病院の 統合.....斎藤 龍生	356
●地域の健康を支える病院	(6)
巻頭言.....山田 隆司	407
地域で病院が担う健康を支援する役割.....馬場園 明	408
自立生活を支える病院の地域づくり活動.....浜村 明德	413
【事例】勤医協札幌病院 ヘルスプロモーション病院(HPH)の理念と取り組み尾形 和泰	420
【事例】医療法人和香会倉敷スイートホスピタル 地域包括ケアシステムで期待される病院の 「地域貢献活動」.....江澤 和彦	423
【事例】特定医療法人仁医会あいちりハビリテーション 病院 “食”にこだわる病院として健康を支える中澤 信	427
●多国籍社会に直面する病院	(7)

巻頭言	洪谷 健司	475
厚生労働省の訪日外国人旅行者等に対する		
医療提供体制構築に関する政策	高崎 洋介	476
救急医療分野における訪日外国人医療対応		
	問田 千晶・森村 尚登	483
病院経営において外国人医療をどのように捉えるか		
—徳洲会グループにおける外国人患者受け入れの		
経緯とジレンマ	渡部 昌樹	488
石川県医師会が行っている外国人医療対策		
—団体契約による電話医療通訳を活用した実証事業		
	齊藤 典才	493
病院における外国人向け医療コーディネーターの役割		
	戸田 果納子	498
在留外国人が多い地域での患者受け入れの実際		
	坂下 重吾	503
● ICT が変える病院医療		(8)
巻頭言	神野 正博	561
ICT・AI 導入によって医師の仕事はいかに		
変わっていくか	鈴木 康裕・江浪 武志	562
健康経営とデータヘルスをいかに進めるか		
	江崎 禎英	567
AI は医療をどう変えるのか—医師との役割分担は		
	水野 正明	572
AI を活用した質と効率を高めるデータ知識循環		
—介護行為の知識構造化を中心に	西村 拓一	577
【事例】 昭和大学 ICU 業務を集約する tele-ICU の		
実際	大嶽 浩司	583
【事例】 社会医療法人石川記念会 HITO 病院		
AI 音声認識システムでカルテ入力時間を削減する		
	篠原 直樹・石川 賀代	586
●ガバナンス改革で変わる病院		(9)
巻頭言	伊関 友伸	636
病院のガバナンスをどう利かせるか	副島 秀久	636
非営利組織のガバナンス—その特徴を踏まえた		
病院におけるガバナンスのあり方	松原 由美	641
病院におけるガバナンス	伊関 友伸	646
【事例】 JCI 認証で強化される病院のガバナンス		
	岡 俊明	651
【事例】 群馬大学医学部附属病院の		
医療の質・安全改革に向けた取り組み		
—クリニカル・ガバナンスの視点から		
	小松 康宏・齋藤 繁・田村 遵一	655
【事例】 監査法人からみた病院ガバナンス	竹内 友之	660
【事例】 医師の働き方改革における病院内の合意形成		
	島 弘志	664
●病院の生産性を向上させる人材育成戦略		(10)
巻頭言	山田 隆司	721
病院の生産性を踏まえた人材育成とは	飯田 修平	722
人財育成に力を入れたチームアプローチで支える		
病院経営	田中 志子	729
地方の中小病院に求められる看護職の育成		
	原崎 真由美・織田 正道	735
医療マネジメントを行う病院総合医の育成		
—チーム医療の推進と働き方改革	園田 幸生	740

生産性を上げる病院薬剤部門の運営— ISO・ICT を		
基盤としたデータ管理に基づくアプローチ		
	関 利一	746
医師事務作業補助者の育成と活用	佐藤 秀次	751
●病院と患者の関係— informed consent を越えて		(11)
巻頭言	今村 英仁	801
成熟した人口減少社会における病院-患者関係		
	広井 良典	802
新しい患者-病院関係 shared decision making		
	中山 健夫	807
入退院支援室から考えるこれからの患者-病院関係		
— Patient Flow Management (PFM) 導入の効果		
	西澤 延宏	812
これからの時代に求められる患者-医療者関係		
—「対話」の重要性	孫 大輔	816
患者と医療者をつなぐ仕事から見たこれからの		
医療安全	豊田 郁子	820
医療安全の立場から考える病院-患者関係	後 信	825
●本格化する病院のアウトカム評価		(12)
巻頭言	松田 晋哉	879
診療報酬におけるアウトカム評価の変遷とこれから		
	谷澤 正明	880
DPC を用いたアウトカム評価	松田 晋哉	886
急性期病院におけるアウトカム評価	伏見 清秀	892
回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカム		
評価	宮井 一郎	896
慢性期病院におけるアウトカム評価の意義と課題		
—新たな「慢性期指標」の導入と DPC データの		
活用	矢野 諭	903
海外におけるアウトカム評価の動向	池田 俊也	908

鼎談・対談

新時代を切り拓く病院のあり方とは		
	太田 圭洋・神野 正博・洪谷 健司	1 (1)
専門医制度と病院—専門医制度の原点を知る		
	高久 史磨・神野 正博	81 (2)
情報爆発時代の病院経営		
	石川 ベンジャミン 光一・松田 晋哉	153 (3)
病院食の未来	東口 高志・今村 英仁	233 (4)
地域の医療を守るための病院の統合・再編とは		
	小熊 豊・伊関 友伸	309 (5)
地域に求められる病院とは	齊藤 正身・山田 隆司	389 (6)
国際社会に誇れる日本の医療を		
	横倉 義武・洪谷 健司	457 (7)
ICT 化が拓く次世代の医療と社会のかたち		
	亀田 信介・神野 正博	543 (8)
ガバナンス強化で病院はどう変わったか		
	望月 泉・伊関 友伸	617 (9)
地域包括ケア時代の人材育成		
	石川 誠・山田 隆司	703 (10)
患者と病院のよりよい関係を求めて		
	山口 育子・今村 英仁	783 (11)
日本の病院における医療の質評価のあり方		
	福井 次矢・松田 晋哉	863 (12)

Report

平成 30 年 7 月豪雨・岡山県倉敷市真備町浸水
—被災病院からの救出活動……………稲葉 基高 7(1)

Graph

新棟建設で機能分担を進め、地域の急性期医療を担う
—公益財団法人慈愛会 今村総合病院……………87(2)

医療と農業の共生を目指す地産地消と
リハビリテーション—緑秀会 田無病院……………159(3)

地域住民の期待に応え、まちとともに成長する病院
—医療法人社団医仁会 ふくやま病院……………239(4)

変わらぬ理念経営が地域との信頼を築く
—社会医療法人生長会 ベルランド総合病院・
ベルピアノ病院……………315(5)

「治し支える医療」を地域で叶える仕組みづくり
—社会医療法人祐愛会 織田病院……………395(6)

トヨタの価値観が診療と教育に息づく
—トヨタ記念病院……………463(7)

「この地域に住みたい」を創り出す病院
—医療法人大誠会 内田病院……………549(8)

回復期医療と老健の複合で、退院後の人生を
サポートする
—医療法人社団健育会 ねりま健育会病院……………623(9)

発達障害者の社会参加を支える—公益財団法人
神経研究所附属 晴和病院……………709(10)

身体拘束ゼロへ 病院の枠を越えて地域へ広げる
取り組み—医療法人社団元気会 横浜病院……………789(11)

アーキテクチャー×マネジメント

青森新都市病院……………須田 真史 10(1)

社会医療法人恵仁会 くろさわ病院……………中山 茂樹 90(2)

気仙沼市立病院……………巖 爽 162(3)

加古川中央市民病院……………河合 慎介 242(4)

大森赤十字病院……………小林 健一 318(5)

西葛西・井上眼科病院……………境野 健太郎 398(6)

総合病院土浦協同病院……………岡本 和彦 466(7)

医療福祉建築賞 2018……………笥 淳夫 552(8)

松戸市立総合医療センター……………山下 哲郎 626(9)

JA 香川厚生連 屋島総合病院……………宇田 淳 712(10)

社会医療法人母恋 天使病院……………石橋 達勇 792(11)

福岡県済生会飯塚嘉穂病院……………小菅 瑠香 870(12)

研究(投稿)

看護職および看護補助者による看護補助者役割の認識
—測定尺度の開発……………佐伯 昌俊・國江 慶子・
武村 雪絵・竹原 君江・市川 奈央子 358(5)

急性期病院に対する是正勧告書から学ぶ病院の
労働安全衛生管理と経営課題……………三隅 達也 921(12)

特別記事

病院経営における控除対象外消費税問題の現状と課題
……………川原 丈貴 200(3)

終末期医療の法と倫理—許されること、

許されないこと、その根拠……………一家 綱邦 508(7)

院内の多職種連携を促進する医療連携推進チームの
成果……………細田 悦子 590(8)

患者情報の利活用と同意の限界—「オプトアウト」を
どう考えるか……………井上 悠輔 831(11)

DPC データからみた介護施設・福祉施設から
の入院の現状分析……………松田 晋哉・村松 圭司・
藤本 賢治・大谷 誠 914(12)

連載

【事例と財務から読み解く地域に根差した中小病院の経営】
林 和希

⑬医療法人社団東山会 調布東山病院—生活支援型
急性期医療の提供により地域を支える病院……………60(1)

⑭医療法人財団興和会 右田病院—救急・急性期を
担う地域のホームホスピタル……………214(3)

⑮医療法人社団淳英会 おゆみの中央病院
—統合ヘルスケアネットワークの構築により
地域を支える病院……………369(5)

⑯医療法人はあとふる 八尾はあとふる病院
—地域の急性期病院から信頼される
回復期・地域包括ケアを担う中小病院……………522(7)

⑰医療法人木南舎 富田病院—地域に支えられ、
地域に愛される病院……………684(9)

⑱医療法人社団 六心会 恒生病院—医療と介護の
連携により地域包括ケアシステムを支える病院……………843(11)

【事例から探る地域医療再生のカギ】 伊関 友伸

②⑤富山大学附属病院の経営改革(前編)……………55(1)

②⑥富山大学附属病院の経営改革(後編)……………208(3)

②⑦医療法人八女発心会の経営再生……………364(5)

②⑧津島市民病院の経営再生……………516(7)

②⑨横須賀市の病院再編と地方議会……………676(9)

③⑩連載を終えるにあたって……………837(11)

【ケースレポート 地域医療構想と民間病院】 松田 晋哉

②⑦西日本のある慢性期病院の事例
—制度改革に翻弄された 20 年を振り返って……………136(2)

②⑧一般財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院
—深刻な少子高齢化の進む過疎地の地域包括
ケアを支える中小民間病院の役割……………288(4)

②⑨医療法人起生会大原病院—行政と協力し
地域と共に歩む病院……………437(6)

③⑩オーストリアにおける医療サービス付き高齢者
施設：20 世紀ユートピア建設のレガシー……………596(8)

③⑪医療法人博愛会 宇部記念病院
—地域包括ケアシステム構築のための
介護医療院への転換事例……………762(10)

③⑫奈良江町立国民健康保険病院
—人口過疎地域における公立病院の機能転換：
高齢社会を支える地域包括ケアミックス病院へ……………929(12)

【「働き方改革」時代の労務管理】

⑧いよいよ始まる働き方改革元年(前編)
—「働き方改革」法案の概要と長時間労働の是正
……………越本 幸彦・吉田 剛 66(1)

⑨いよいよ始まる働き方改革元年(後編)

—求められる労働者の健康管理と待遇差の解消	越本 幸彦・吉田 剛	141 (2)
⑩労働基準監督署による調査への対応(前編)		
—立入調査への正しい理解と心構え	越本 幸彦・岡田 祐輝	220 (3)
⑪労働基準監督署による調査への対応(後編)		
—労災認定によって生じるリスクと調査への対応の 注意点	越本 幸彦・岡田 祐輝	296 (4)
⑫メンタルヘルス不調への対応(前編)		
—メンタルヘルス不調の予防と業務変更希望 への対応	越本 幸彦・山崎 祥光	376 (5)
⑬メンタルヘルス不調への対応(後編)		
—メンタルヘルス不調者の休職・復職時の注意点	越本 幸彦・山崎 祥光	443 (6)
⑭重要性を増すハラスメントリスク対策(前編)		
—ハラスメントの実体とパワーハラスメントの 正しい理解	越本 幸彦・今枝 史絵	529 (7)
⑮重要性を増すハラスメントリスク対策(後編)		
—リスクを呼び込まないためのセクハラ対策	越本 幸彦・今枝 史絵	603 (8)
⑯採用にまつわる法的トラブル防止策	越本 幸彦・森 悠樹	690 (9)
⑰見落としがちな賃金制度の落とし穴	越本 幸彦・森 悠樹	770 (10)
⑱チーム医療と秩序維持—院内ハラスメントと 懲戒処分、懲戒的配転	越本 幸彦・石井 洋輔	849 (11)
⑲職務懈怠、医療過誤、ドクハラと懲戒処分		
—組織の秩序と信頼を守るために	越本 幸彦・石井 洋輔	935 (12)
【多文化社会 NIPPON の医療】堀 成美		
⑯外国人医療における「応召義務」問題		72 (1)
⑰外国人増加のなかで対応を迫られる結核医療		146 (2)
⑱若年女性のリプロダクティブヘルス支援		224 (3)
⑲無防備な医療機関が「紹介ビジネス」に 狙われ始めている		302 (4)
⑳「消えた」外国人が救急外来を受診するとき		380 (5)
㉑「やさしい日本語」は医療者も日本人患者も救う		448 (6)
㉒法改正後も残る「制度の隙間」問題		534 (7)
㉓「守り」と「攻め」の外国人患者受け入れ条件 設定		608 (8)
㉔薬剤部門のグローバル化		694 (9)
㉕地域の外国人生活支援リソース活用と行政への		

働きかけ	774 (10)
㉔ 10 倍になった予算で何が解決し、どの課題が 残るのか	854 (11)
㉔外国人患者対応の人材確保戦略	940 (12)
【医療提供体制の変貌 病院チェーンと保健・医療・福祉複 合体を中心に】二木 立	
①私の病院チェーンと複合体研究の回顧	281 (4)
② 2010 年以降の病院チェーン・複合体の文献レビュー	430 (6)
③ 1991～2011 年の医療法人病院チェーンの推移と構造	669 (9)
④医療法人以外の私的病院チェーンの分析	756 (10)

Book Review

『トワイクロス先生の緩和ケア QOL を高める症状 マネジメントとエンドオブライフ・ケア』	加賀谷 肇	75 (1)
『脱・しくじりプレゼン 言いたいことを言うと 伝わらない!』	徳田 安春	207 (3)
《ジェネラリスト BOOKS》『外来でよく診る 病気ストレスな症例への生活処方箋 エビデンスと パリュエに基づく対応策』	小泉 泰郎	227 (3)
『トワイクロス先生の緩和ケア QOL を高める症状マネジメントと エンドオブライフ・ケア』	恒藤 暁	383 (5)
『在宅医療カレッジ 地域共生社会を支える 多職種の学び 21 講』	辻 哲夫	436 (6)
『脱・しくじりプレゼン 言いたいことを言うと 伝わらない!』	飯原 弘二	451 (6)
『研究の育て方 ゴールとプロセスの「見える化」』	二木 立	515 (7)
『在宅医療カレッジ 地域共生社会を支える 多職種の学び 21 講』	高橋 昌克	537 (7)
『在宅医療カレッジ 地域共生社会を支える 多職種の学び 21 講』	藤沼 康樹	611 (8)
『こんなときオスラー 「平静の心」を求めて』	志水 太郎	667 (9)
《シリーズ ケアをひらく》『居るのはつらいよ ケアとセラピーについての覚書』	上田 諭	697 (9)
『こんなときオスラー 「平静の心」を求めて』	鍋島 茂樹	777 (10)
『医療者のための結核の知識 第 5 版』	門田 淳一	857 (11)